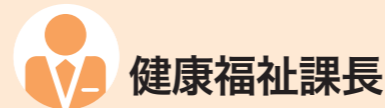


福祉事業所等の 相談窓口設置を



小林 一幸



健康福祉課長

関係機関と連携して
対応する

質問 町内で新型コロナウイルスの感染が増えているなか、町として取り組んでいることなどを方針としてなぜ出さないのか。

答弁 町長 私の方針は、新型コロナウイルスの感染拡大防止、町内経済への支援、そして、言われなき誹謗中傷を防止することである。具体的な取組は、町ホームページやメルマガにて情報発信している。また、機会をみて最新の町長メッセージを発信している。

質問 国や県・メディアを通じた情報量が多すぎるとも言える現状がある。整理した情報を町として出していく必要があるのではないか。

答弁 健康福祉課長 最新の情報を伝えることができるのはメルマガとホームページだと考えている。逐次、状況の変化に応じて対応していく。

質問 福祉事業所や医療機関の感染対策について、

定期的な訪問等により状況を把握しているか。

答弁 健康福祉課長 訪問等による状況把握の予定は今のところない。

質問 困っている事業所等に対する支援として、相談窓口を設置する考えはあるか。

答弁 健康福祉課長 関係機関と連携し、相談に乗れる体制にはあると考えている。

医療的ケア児支援法施行に伴う町の対応は

質問 法律のなかで支援体制の拡充が求められている。町としての取組方針を問う。

答弁 町長 乳幼児健診の早い段階から医療的ケア児の情報共有を行い、入園・入学などのライフステージに合わせたスムーズに支援がつながるように、関係各課で連携していく。



道の駅玉村宿のユニバーサルシート

質問 公共機関などで設置が進んでいる「ユニバーサルシート」について、設置の状況及び今後の設置予定は。

答弁 町長 道の駅玉村宿の屋外多目的トイレ内に設置されている。設置には利用者と支援者が安全に使用するためのスペースの確保が必要となるため、各公共施設の状況に応じて、関係機関等と連携していきたい。

役場閉庁時の 緊急通報への対応は



石内 國雄



町長

総務課長等へ
連絡が行き対応

質問 道路の破損や、配水管の破損による漏水などは、緊急の対処が必要となる場合が多い。住民の方々は、役場の閉庁時であれば各担当課へ通報しているが、閉庁時の緊急通報はどこにするのか。

また、連絡体制はどのようになっているのか。

答弁 町長 土日、祝日及び年末年始の休みであれば、午前9時から午後5時まで職員が交代で日直対応を行っており、通報内容によって日直から担当する職員等に連絡することで対応している。

それ以外の夜間等の時間帯について役場の代表番号に着信した電話は、警備会社が受けることになり、緊急通報等の場合には、夜間であっても警備会社から総務課長に連絡が行き対応している。

また、漏水等に関する緊急通報については、警備会社から直接、浄水場管理受託会社へ連絡

が行き対応する体制となっている。

老朽化した配水管の更新計画は

質問 老朽化した配水管の破損により、道路からの漏水などが起きている。老朽化した配水管の更新計画はどのようなになっているか。

答弁 町長 基本的な方針として、口径200ミリメートル以上の配水量の多い基



配水管の布設替え工事案内

幹管路の更新を優先的に実施している。
石綿管の解消、漏水回数が多い配水管の布設替え、民地内配水管路の解消、他の事業との連携工事の実施の状況等も考慮しながら、老朽配水管の更新に取り組んでいる。

コロナワクチンの接種体制について

質問 文化センターにおける集団接種について、今後の計画はどのようなになっているか。

答弁 町長 9月末までは日曜日の午前中に文化センターで集団接種を実施する予定である。
10月以降は、随時、国からのワクチン供給量を見定め、希望者数に応じた接種体制を築いていきたい。